

日中  
あかやま  
題字 藤原田 親  
No. 506  
2007/4/5  
日中友好協会  
岡山支部  
〒733-8255  
岡山市武庫3-8-30-514  
TEL.086-272-3010  
郵便振替口座  
01250-0-3435  
http://rizhong.jp/  
index.html

日中友好新聞

発行所  
日本中国友好協会  
〒111-0054 東京都千代田区  
有明2-1-1 東京マリンビル

# 中国ブロック会議ひろく

## 出雲市に19人

3月24日・25日、日中友好協会の中国5県から役員ら19人が集まりました。時計の逆回りで島根県が会場に。参加者は島根6、山口3、広島2、岡山2、鳥取5、本部から大田副理事長でした。2日間の発言者64人。

島根県からは大連と松江の大学間交流、行事が拡大に結びつかないこと、やっと存続している出雲支部の状況などが話されました。山口県からは戦争体験第13集

(¥1000)の出版、がんばっている87歳の婦人も出席、県立大学に留学している岳さんの太極拳の表演がありました。

広島県からは全国大会にむけ300人の拡大は60支部が5人ふやせば達成できる数という、残留孤児裁判のとりくみに追われているが広島地裁では神戸に近い判決を期待していると。

岡山県からは倉敷支部の大森支部長が中国旅行で会員増、理

事会の集まりがよいこと、内山完造の足跡、日本語教室、100人の支部にしたいと。岡山支部の竹内理事長からはニュースが505号になり、カレンダー600完売のことなどが。

鳥取県からは米子支部の太極拳130人、若い高校教師の青年への働きかけ、山菜とりなど多彩な活動とともに、県都に支部をつくる展望をもつことなどが語られました。

つぎの会場山口県を確認しました。中国旅行については日中が主催者にならないようにとの注意もありました。

竹内

### 中国人に中国料理を学ぼう

主催: 日中友好協会岡山支部

## 第31回 料理教室

今回の料理教室は《邯鄲と四川の料理》

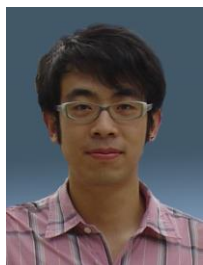
春本番の季節。第31回目の料理教室を持つことになりました。講師には河北省邯鄲出身の李正劼さん。岡山大学教育学部の大学院で美術デザイン教育を専攻中。また中国人留学生学友会の宣伝部長としても、優れたデザイン感覚を生かして活躍されています。

邯鄲といえば「邯鄲の夢」の故事で有名な地、戦国時代趙の都として栄えた古都です。この邯鄲の家庭料理に加えて、彼の得意な四川料理も教えてもらうことになりました。邯鄲の料理から一品。「鄆県豆餅」を。粉皮(緑豆か白薯・サツマイモの澱粉)で作った紐皮状のうどん?)。四川料理から、[水煮肉片]豚肉、生菜などの料理。「宮保鳥丁」きゅうり、ピーナッツ、人参などの料理の3品です。中国独特の材料を選んでいかにも中国料理らしいものを作ります

楽しみながらつくり味わい、そして賑やかに交流をしましょう。ご参加お待ちしております。

エプロン・ふきんご持参ください。タッパあれば便利です。準備が必要なので、お早めにご連絡ください。

講師: 李正劼さん (河北省邯鄲市出身)



日時: 2007年4月22日(日)  
時間: 10:00~14:00  
場所: 大元公民館  
tel: 086-241-8526  
岡山市大元上町10-31  
参加費: 1300円(材料費込み)  
日中正会員1100円  
定員: 25名

問い合わせ zeshan@m9.dion.ne.jp

### 太極拳 一日無料講習会

とき: 4月11日(水)午後6時~8時  
会場: さんかく岡山(会議室)  
所在地: 岡山市表町三丁目14-1-201号  
(アークスクエア表町2階)  
服装: 体操着等の動きやすいもの・運動靴  
主催: 日中友好協会岡山支部  
お問い合わせ: 電話(086)942-7508(岡田)・携帯 090-3633-5714(青木)

ご希望の方は電話086-727-3010まで

### 『ミステリーチャイナ』

読んでみたい方にさしあげます

1月末に東京本部で中国語委員会があったとき、委員長の加藤三由紀さん(和光大学教授)から、表記の短編翻訳の本を岡山支部に30冊頂きました。

現代中国の異色短編集「76」ページ東方書店発行です。

読んでみたいお方にさしあげますので一報ください。出来れば感想を翻訳者の皆さんに送ってくださいといいかと思います。

竹内

### 弁護士9条の会・岡山

講演と上映会のお知らせ

- 1部 吉岡康裕弁護士のライブ講演 (ギターとピアノ伴奏付き)
- 2部 映画「戦争をしない国 日本」  
とき 07年4月13日(金)午後6時から  
ところ 岡山弁護士会館2階大会議室  
参加費 無料  
主催 弁護士9条の会・岡山

「戦争をしない国 日本」は、『裁かれる自衛隊』『日独裁判官物語』など多くのドキュメンタリーを監督し、一貫して社会的問題に取り組んでこられた片桐直樹監督の作品です。

問合せ先 山崎法律事務所 086-224-2628

## 中国語講座 第11期

(07年4月~07年10月)

### 受講生 募集!

無料体験講座が4月第1週

参加体験して受講クラスをお決めください

クラス	時間	会場
入門クラス	火曜日 13時半~15時半	旭公民館
入門クラス	火曜日 18時半~20時半	岡輝公民館
やさしい日常会話	金曜日 18時半~20時半	岡輝公民館
初級Ⅰ	木曜日 18時半~20時半	旭公民館
初級Ⅱ	金曜日 18時半~20時半	旭公民館
中級	金曜日 18時半~20時半	大元公民館
上級	金曜日 18時半~20時半	大元公民館
研究クラス	木曜日 18時半~20時半	大元公民館

- 講師は全て中国人講師です。
- 見学はご自由に。しかし準備の都合上 事前にご連絡ください

受講料は月額:3500円,高校生以下:2000円

日中の正会員:3000円です。

3ヵ月ごとの前納です。入学金など不要です。

\*テキスト代金は、別途各自の負担になります。

\*連絡をくだされば、受講案内をお送りします。

お問合せ先:日中・岡山中国語委員会

日中友好協会岡山支部内(岡山市浜3-8-30-514)

電話086-272-3010 携帯電話:090-7542-6139

《Eメール》

rizhong86@hotmail.co.jp / zeshan@m9.dion.ne.jp

日中友好協会岡山支部ホームページ  
http://rizhong.web.infoseek.co.jp  
メールアドレス  
rizhong86@hotmail.co.jp



# 中国建徳市に桜千本を植える

## ボランティア活動 ⑮

杉元 邦太郎

### (付) 単独訪中の記録

建徳市との往来の他に筆者独自に中国に三回出かけている。

筆者の初めての訪中は1998(平成10)年7月19日〜8月9日の3週間にわたる北京行きに始まる。

このときは島根大学と姉妹大学交流を行っている北京の 中国農業大学に学生の中国研修について行ったのである(引率教員は中国語の教員で、筆者はそれに特別参加した)。このときは万里の長城や明の十三陵、故宮や天壇などの見学の他に、個人的に盧溝橋やその博物館、北京の商店街。さらに中国からの留学生(鄭君)のお兄さんの会社の社用車で天津にまで足を伸ばした。

天津ではいきなりの訪問にもかかわらず、たちまち6人ほどの人が集まり(後で聞くと市役所や共産党の要人であった)、昼間から例のテーブルを囲んでの宴会になった。

王君が2時間は我慢してくれと言う(彼は通訳としてついでにくれた同大学職員で、延辺自治区朝鮮族の出身)筑波大学で農業機械の研修を受けたということ(日本語は通訳者だった)。彼は自由行動の間ずっと通訳についてくれ、JETROにもついてきてくれて資料収集の手伝いもしてくれ、さらに盧溝橋やその博物館など、その好意に甘えて北京のあらゆる見物も得られたと思ふ。帰途は上海経由のため、前述の豫園や、シルク工場なども見学してきた。



04.4.7 木次で訪日団

つぎつぎで世話をしてくれたい。まず建徳市に行き、ネットワークの第一回目の訪問とその年4月に来雲されたことのお礼を申し上げ、清心賓館に二泊し、千頭湖の島々に渡ったり、徐副市長の案内で市街地や、将来の住宅開発地の案内をしていた。

金華滞在中は、市内の探訪はもちろん、金華市義烏市(県級市を意味する)の中国経済開放の最先頭を切つて中国最大の卸市場(商城)を造つていっている様子を見て回り、若干の聞き取りも行った。

この市場には温州などからも出店している(その彼も第二次大戦中の日本侵略について語っていた。今は恨みはないという)を見学し、また金華市の西にある衢州市(化学工業基地)や東シナ海(東海)に面している温州市(温州ミカンのふるさとであるが、今は港町や繊維工業、老舗などで賑わっている)にも鉄道で行ってきた。

資料も収集してきたが、何しろ簡体中国語で書いてあり、まだ読み切っていない。このときの記録はまだ発表していない。

第二回目の訪中は1999(平成11)年7月29日から2週間ほど浙江省金華市地級市に行つた。金華市は建徳市から諸葛村を過つて3時間の距離にあり、実は建徳市を流れている新安江は金華から流れてくる富春江の支流に当たる。従つて流域的には金華に属するわけであるが、平野の開け方から建徳市は杭州の一部になっている。

このときには金華市出身で、島根大学で世話をしている留学生二人(鄭君と王君)北京の王君とは別の故郷でもあり、王君の親が金華市立病院の院長をしていたおかげで公用車が使えた。通訳も留学生の鄭君が

は靖国参拝のことなどを聞かれて、謝罪と説明に苦労した。

その後、市内の探索で天一坊(明代の図書館や鼓楼、そして繁華街を歩いたのち、王君の友人共々中国風シャブシヤブを食したり、老街を歩いた後で例の全身マッサージを受けてきた。日を変えて天童寺や阿育王寺も訪ねている。また河姆渡遺跡の博物館にも出かけて、長江流域の文化の深さを感じてきた。さらに寧波といえは古くからの港町。近年造成された外港の広さに度肝を抜かれたりした。日本との貿易も盛んで、日本人も多く住んでいると言つてよかった。

### 上海からの便り

## 旧正月は爆竹の大音響

桑山 哲郎

拝啓

マンシヨンの前の梅の木に花が一輪二輪咲き始めたまま、このところの一寒一温にとまどつているのか、もう何週間もそのまゝの状態です。いかがお過ごしでしょうか。

今年は旧暦の1月1日を初めて上海で過ごしました。前日の夕方から花火が上がり始め、夜12時にピークを迎えるので

聞いてはいましたが、こんなにすごい大晦日をはじめ体験しました。我が家のベランダから180度上海の南側が見渡せるのですが、その180度一面が遠くに近くに花火、花火なのです。近くのもののは目の高さで、今にもガラスを突き破つて部屋の中に入つてくるかと思うほどの迫力でした。夜の12時から1時にかけて上は花火、下は爆竹の大音響(人はほとんど出ていないのですが)、家の中で大声をだしても聞こえないくらい

「君よ五月の風になれ」  
 2007憲法フォークジャンボリー in おかやま  
 ♪「憲法フォークジャンボリー」  
 5月19, 20日開かれる上記イベントに、県九条の会が協賛の形で参加することになりました。県内各地、各分野・職場・学園九条の会の皆様のご協力をお願いします。

出演者は、先の「平和のつどい」で好評を博した笠木透さんと雑花塾に、歌手の高石ともやさん、民話の立石憲利さん、箏曲の星島淑子さんをはじめ多彩な音楽集団が参加します。

日程と内容は以下の通りです。

- 5月19日(土) 13:30~20:30 天神山文化プラザ
- ♪「憲法九条を謳う〜雑花塾と共に〜」・フリートーク・フリーセッション・シングアウト...
- 5月20日(日) 13:30~17:00 岡山禁酒會館中庭
- 出演 笠木 透と雑花塾 ほか 両日参加券 前売3000円 当日3500円
- 賛助会員募集中
- 1口1万円(1口につき両日参加券を4枚提供)

です。1時を過ぎたころには空一面の煙で遠くの花火が見えなくなりました。

それから三日間は散発的に花火が上がつていましたが、4日の夕方からは財神の関羽を迎えるということ(大晦日以上には打ち上げられ、やはり夜の12時から1時半ぐらいがピークで、なんと一晩中朝まで花火の音が鳴り続けていました。

さらに驚いたことには、今年は何年より静かだったね、と上海人同士で話しあつていました。

さて、昨年11月末に上海に来て3ヶ月が経ちました。

病気のことで心配いただきましたが、おかげさまで少しずつよくなつてきています。

今では、日常生活の身の回りのことはほとんど一人でできるようにになりました。

春節のにぎやかさに自分の体が不自由なこと忘れて、どこかに行きたくてうずうずして、外灘と朱家角に行ってきました。

授業のほうもこの3ヶ月は週8コマに抑えていましたが、授業をしているほうが元気がでるようなので、春節の休み明けから22コマまで増やします。

元の体にもどるのにはまだまだ時間がかかりそうですが、あせらず、のんびり、できることを楽しみたいと思つています。

岡山での入院中はいろいろとお心遣いがありありがとうございました。何もできませんが、せめてこちらで何かお役にたてること(お返し)があれば、どうか遠慮なくおっしゃってください。

すべてのはじまりである春を迎えるにあたり、もう一度新たな気持ちで皆様のご健康とお幸せをお祈りいたします。

敬具

次回の新聞送付作業は  
 4月11日(月)午後1時半  
 民主会館2階で行います。  
 前回お手伝いくださった方です。

小林和製  
 竹内服部